

命を守る交通安全講話！

－ 夏休み前に安全第一を再確認 －

6月30日(火)。今日の朝行事は、館林警察署から警察官をお招きし、交通安全講話が行われました。

講話では、「自分の命は自分で守ること」「大切な人を悲しませるような事故やけがにあわないこと」、そして、そのために「交通ルールをしっかりと守ること」の大切さについてお話いただきました。子どもたちは、夏休みを前に、自分の登下校や地域での過ごし方を思い浮かべながら、真剣に話を聞いていました。

交通安全は、学校の中だけで完結するものではなく、毎日の生活の中で一人一人が意識し続けることが大切です。

また、こうした子どもたちの安全な生活を支えてくださっているのが、地域の皆様のあたたかな見守りです。今回の交通講話は、交通安全協会赤羽支部の皆様のご協力により実施されました。過日、子どもたちに配付された鉛筆、消しゴム、定規についても、同支部の皆様から交通安全を願っていただいたものです。

警察署の皆様、交通安全協会赤羽支部の皆様からいただいた学びと願いを、日々の行動につなげながら、交通事故ゼロ、安全第一を合い言葉に、学校・家庭・地域で声をかけ合い、これからも子どもたちの安全を守っていききたいと思います。

